

2025～2026年度
国際ロータリー会長メッセージ



国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ

2025～2026年度
地区基本方針

「未来へつなぐ」

RI第2650地区ガバナー
小崎 学

ふしぎいぬ
白御影石



作: 杉村 仁 会長

- | | | | | |
|-----------|------------|-------------|--------------|------------|
| 会 長 杉村 仁 | 副 会 長 佃 尚彦 | 副 会 長 安井 清悟 | 会長エレクト 井上 直治 | 直前会長 佐川 寛一 |
| 幹 事 加藤 又拵 | 会 計 木村 和弘 | 会場監督 丸山 佳映 | 理 事 井上 直治 | 理 事 岡崎 義幸 |
| 理 事 東山 光秀 | 理 事 安井 清悟 | 理 事 松中 隆 | 会報委員長 岡崎 義幸 | |

第16回(2563回)例会プログラム令和7年11月20日(木)

「北部7RC合同例会」

ホテル日航奈良にて

第15回(2562回)例会報告 2025. 11. 6

ソング

「君が代」「奉仕の理想」

来訪者紹介

松原 六郎 様 地区ロータリー財団委員長(福井フェニックスRC)

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通 算 2562 回	20	1/1	15/19	4	80.0%
通算2560回修正	20	1/1	14/19	5	75.0%

会長の時間 (杉村会長)

皆さん、今晩は。
 今年度地区財団委員長、パストガバナー、松原 六郎 様、福井からようこそお越し下さり、有難うございました。卓話、どうぞよろしくお願い致します。
 先週は家族親睦例会にご参加の皆様、お楽しみいただけましたか。私は随分ゆっくりさせていただき、すっかり楽しんで参りました。加藤幹事殿、川上委員長殿、すっかりお世話になりありがとうございました。

ニコニコ報告

松原六郎Pガバナー様
財団のお話をさせていただいて・・・

杉村仁会長
松原六郎委員長様
本日は、ようこそ奈良西ロータリークラブにおいでくださいました。お話よろしくお申し上げます。

佃尚彦P会長、佐川寛一P会長、東山光秀会員、松中隆会員、小松玲子会員、加藤又拵会員、岡崎義幸会員
松原Pガバナー、5年ぶりの奈良西RCへようこそお越しくださいました。
本日の財団卓話、よろしくおしいたします。



12月予定(例会)

4日:理事会・年次総会 卓話 会長ノミニー 会場 奈良ロイヤルホテル

11日:卓話 田中会員「自己紹介卓話」 会場 奈良ロイヤルホテル

17日:クリスマス家族親睦会 会場 ホテル日航奈良『セリーナ』

【臨時会費】会 員 3,000円 ご家族様 無料

※会場の都合で18日(木)→17日(水)に日程変更になっております。

(その他予定等)

7日:とみきた合唱団クリスマスライブ(担当:青少年奉仕委員会)

13時~設営準備 14時開始 会場 登美ヶ丘イオン前

イベント終了後55周年記念時計塔前で記念撮影

21日:中川会クリスマスパーティー 11時~14時 会場 中川会

※小松会員が奈良東RC主催のラオス派遣事業(令和8年1月28日~2月2日)に

参加されます。帰国後、例会にて報告会を行っていただきます。(日程未定)

※財団寄附金としてお一人200ドル(30,000円)を目標にご協力お願いいたします。

卓話

「ロータリー財団について」

地区ロータリー財団委員長 松原 六郎 様 (福井フェニックスRC)

ロータリー財団とその活動について

財団の歴史と理念

ロータリー財団は、アーチ・クランフが1917年に基金の必要性を提唱し、最初に26ドル50セントを寄付したことからその原型が作られました。

ロータリーの理念は、親睦、寛容、個人資質の向上、事業の維持発展に努めることに要約されます。その目的は、家庭、仲間、職場、地域、国際社会の幸福達成に寄与する、奉仕の心と実践に満ちたロータリアンを育成する世界的団体であることです。

また、初期のロータリーを支えた人物として、

チェスリー・ペリー(事務総長)とガイ・ガンデカーが挙げられます。ペリー氏は謙虚で上下関係を嫌い、功績による表彰を拒否した人物です。ガンデカー氏はロータリーの教育的性格を強調し、「立派な職業人=ロータリアンを育てる」という原点を明確化しました。



財団の資金配分と補助金制度

財団の資金の仕組みには、年次基金と恒久基金の二種類があります。年次基金は3年後に原資が地区に戻りますが、恒久基金は運用益のみが戻る仕組みです。

集められた資金は、運営費として5%が控除された後、残りの95%が等分され、**47.5%が地区(DDF:地区財団活動資金)へ、47.5%がRI(国際ロータリー)のワールドファンド(WF)へと配分されます。

地区財団活動資金(DDF)の使途は、地区補助金とグローバル補助金の2枠に分けられ、原則としてそれぞれ50%以内で運用されます。

補助金の運用

地区補助金は、各クラブの地域奉仕活動を支援するために使われます。規定により、ロータリアンの旅費、インターネット広報、飲食には使用できません。財団セミナー(8月の財団セミナー、翌年1月の補助金セミナー)を開催し、適切な運用を推進しています。

グローバル補助金は、7つの重点分野に沿ってRIへ申請する大規模な奉仕活動の枠組みです。申請の敷居が高く見えるかもしれませんが、委員会が助言を行っています。なお、ポリオは補助金の対象外と定められています。

財団が推進する人材育成として、財団奨学金があります。我々が2650地区は毎年財団奨学生を派遣していますが、平和フェローの輩出はまだありません。奨学生の渡航目的は、グローバル補助金と同様に7つの重点分野に規定されています。

ロータリーの約束事:ポリオ根絶の現状

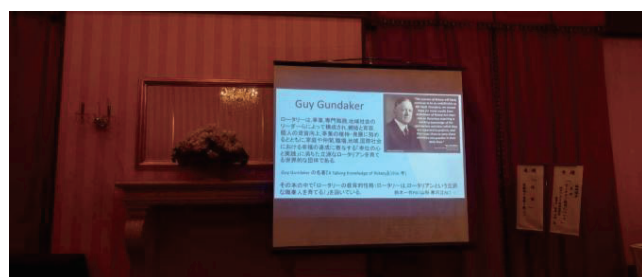
西太平洋地域での功績

ロータリーの最大の約束事であるポリオ根絶活動において、世界保健機関(WHO)の西太平洋事務局(WPRO)管轄地域では、西暦2000年に根絶が成し遂げられました。これは、1997年のカンボジアの少年のケースが最後の患者であり、その3年後に根絶が宣言されました。この根絶には、我々が2650地区が大きく関わっています。

現在のポリオ発生状況

ポリオの発生は減少傾向にあります。依然として活動が必要です。2025年10月22日現在、ポリオ患者はパキスタンで30例、アフガニスタンで9例が認められています。

前年の2024年1年間では、パキスタンで74例、アフガニスタンで25例であったため、件数としては減少していると言えます。しかし、アフガニスタンの治安不安定な地域からの報告がないため、実際に減少していると断言するのは難しい状況です。



例会の様子



Rotary 
Club of Nara-West

第17回（通算2564回）例会予告
例会日 令和7年12月4日（木）

第7回理事会

年次総会

卓話：「会長ノミニー卓話」